

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【公表番号】特表2020-500093(P2020-500093A)

【公表日】令和2年1月9日(2020.1.9)

【年通号数】公開・登録公報2020-001

【出願番号】特願2019-547580(P2019-547580)

【国際特許分類】

A 6 2 B 9/04 (2006.01)

A 6 2 B 7/00 (2006.01)

A 4 2 B 3/28 (2006.01)

【F I】

A 6 2 B 9/04

A 6 2 B 7/00

A 4 2 B 3/28

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月17日(2020.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザが装着するように適合されたヘッドギヤにガスを送達するためのガス送達システムであって、

ガス供給源と、

ユーザの少なくとも鼻及び／又は口を収容するように構成された内部領域を有するヘッドギヤと、

一端で前記ガス供給源に連通し、別の端部で前記ヘッドギヤの前記内部領域に連通する流体経路と、

前記流体経路に挿入された、磁気クイックコネクトであって、第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と第2の磁気クイックコネクトカップリング部材とを含む前記磁気クイックコネクトと、を備え、

前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材の1つの接合面にはそこに配置されたOリングが含まれ、前記Oリングは、前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と第2の磁気クイックコネクトカップリング部材が連結構成にある時に、前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材との間に気密シールを形成し、

前記Oリングは、前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と第2の磁気クイックコネクトカップリング部材の1つの前記接合面に形成された環状溝に着座し、

前記環状溝はC字型であって、前記環状溝の開口部が前記Oリングの直径よりも狭い、ガス送達システム。

【請求項2】

前記ガス供給源は空気ファンを備える、請求項1に記載のガス送達システム。

【請求項3】

ユーザが装着するように適合されたヘッドギヤにガスを送達するためのガス送達システムであって、

ユーザの少なくとも鼻及び／又は口を収容するように構成された内部領域を有するヘッドギヤと、

前記ヘッドギヤに取り付けられ、かつ第1の流体連通経路を画定するインタフェースであって、前記インタフェースは前記第1の流体連通経路の第1端部に第1の磁気クイックコネクトカップリング部材を含み、かつ前記第1の流体連通経路の第2端部は前記ヘッドギヤの前記内部領域に流体連通する、インタフェースと、

前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材を磁気的に係合するように適合された第2の磁気クイックコネクトカップリング部材と、

空気流を連通する導管であって、前記導管と前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材が第2の流体連通経路を画定する導管と、

を備え、

連結構成においては、前記第1の流体連通経路は前記第2の流体連通経路と流体連通し、

前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材の1つの接合面にはそこに配置されたOリングが含まれ、前記Oリングは、前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と第2の磁気クイックコネクトカップリング部材が連結構成にある時に、前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材との間に気密シールを形成し、

前記Oリングは、前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と第2の磁気クイックコネクトカップリング部材の1つの前記接合面に形成された環状溝に着座し、

前記環状溝はC字型であって、前記環状溝の開口部が前記Oリングの直径よりも狭い、ガス送達システム。

【請求項4】

前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材は前記ヘッドギヤに取り付けられた前記インタフェースに取り外し可能に接続可能である、請求項3に記載のガス送達システム。

【請求項5】

前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材は前記ヘッドギヤと一体形成される、請求項3に記載のガス送達システム。

【請求項6】

前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材は、前記導管を前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材に接続するように構成されたコネクタを含む、請求項3に記載のガス送達システム。

【請求項7】

前記第2の流体連通経路の一端に接続された空気供給源を更に備え、前記空気供給源は空気を前記第2の流体連通経路へ送達するためのファンを含む、請求項3に記載のガス送達システム。

【請求項8】

ユーザが装着するように適合されたヘッドギヤにガスを送達するためのガス送達システムであって、

ユーザの少なくとも鼻及び／又は口を収容するように構成された内部領域を有するヘッドギヤと、

前記ヘッドギヤに取り付けられ、かつ第1の流体連通経路を画定するインタフェースであって、前記インタフェースは前記第1の流体連通経路の第1端部に第1の磁気クイックコネクトカップリング部材を含み、かつ前記第1の流体連通経路の第2端部は前記ヘッドギヤの前記内部領域に流体連通する、インタフェースと、

前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材を磁気的に係合するように適合された第2の磁気クイックコネクトカップリング部材と、

空気流を連通する導管であって、前記導管と前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材が第2の流体連通経路を画定する導管と、

前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材の前記第1の流体連通経路内に固定するために、前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材の内壁に選択的に係合するよう適合された、第1の内側部材であって、前記第1の流体連通経路内に延在する第1の内部連通経路を画定する、第1の内側部材と、

前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材の前記第2の流体連通経路内に固定するために、前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材の内壁に選択的に係合するよう適合された、第2の内側部材であって、前記第2の流体連通経路内に延在する第2の内部連通経路を画定する、第2の内側部材と、

を更に備え、

連結された構成においては、前記第1の流体連通経路は前記第2の流体連通経路と流体連通し、

前記連結された構成においては、前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材とは、吸引力によって着脱可能に一体保持されて、前記第1と第2の内部連通経路が流体連通状態に保持される、請求項3に記載のガス送達システム。

【請求項9】

前記第1の内部連通経路は、前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材の前記第1の流体連通経路内に固定されるとき、少なくとも1つの同軸領域において前記第1の流体連通経路と同軸に延在する、請求項8に記載のガス送達システム。

【請求項10】

前記第2の内部連通経路は、前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材の前記第2の流体連通経路内に固定されるとき、少なくとも1つの同軸領域において前記第2の流体連通経路と同軸に延在する、請求項8に記載のガス送達システム。

【請求項11】

液体連通するための液体導管を更に備え、前記液体導管は前記第2の内部連通経路と流体連通する、請求項8に記載のガス送達システム。

【請求項12】

前記第2の内部連通経路に液体を送達するための、液体導管と流体連通する液体ポンプを更に備える、請求項8に記載のガス送達システム。

【請求項13】

ユーザにガスを送達するためのヘッドギヤであって、

ユーザの少なくとも鼻及び／又は口を収容するように構成された内部領域を有するヘッドギヤと、

前記ヘッドギヤに取り付けられ、かつ第1の流体連通経路を画定するインタフェースであって、前記インタフェースは前記第1の流体連通経路の第1端部に第1の磁気クイックコネクトカップリング部材を含み、かつ前記第1の流体連通経路の第2端部は前記ヘッドギヤの前記内部領域に流体連通する、インタフェースと、

第2の流体連通経路を画定するコネクタであって、前記コネクタの第1端部は前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材を磁気的に係合するよう適合された第2の磁気クイックコネクトカップリング部材を含み、前記コネクタの第2端部はホースに接続するよう適合されたホースコネクタを含む、前記コネクタとを備え、

連結構成においては、前記第1の流体連通経路は前記第2の流体連通経路と流体連通し、

前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材の1つの接合面にはそこに配置されたOリングが含まれ、前記Oリングは、前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と第2の磁気クイックコネクトカップリング部材が連結構成にある時に、前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と前記第2の磁気クイックコネクトカップリング部材との間に気密シールを形成し、

前記Oリングは、前記第1の磁気クイックコネクトカップリング部材と第2の磁気クイックコネクトカップリング部材の1つの前記接合面に形成された環状溝に着座し、

前記環状溝はC字型であって、前記環状溝の開口部が前記Oリングの直径よりも狭い、ヘッドギヤ。